

平成21年度(第11期)第2四半期決算について

平成21年11月9日

東日本電信電話株式会社

1-1. 損益及び設備投資の状況

- 損益の状況については、営業収益は対前年▲195億円に対し、営業費用は対前年▲312億円
営業利益は対前年+116億円の322億円となり、減収増益
- 設備投資については、NGN提供地域を拡大する一方、既存IP網への投資抑制等により、対前年▲88億円の
2,213億円

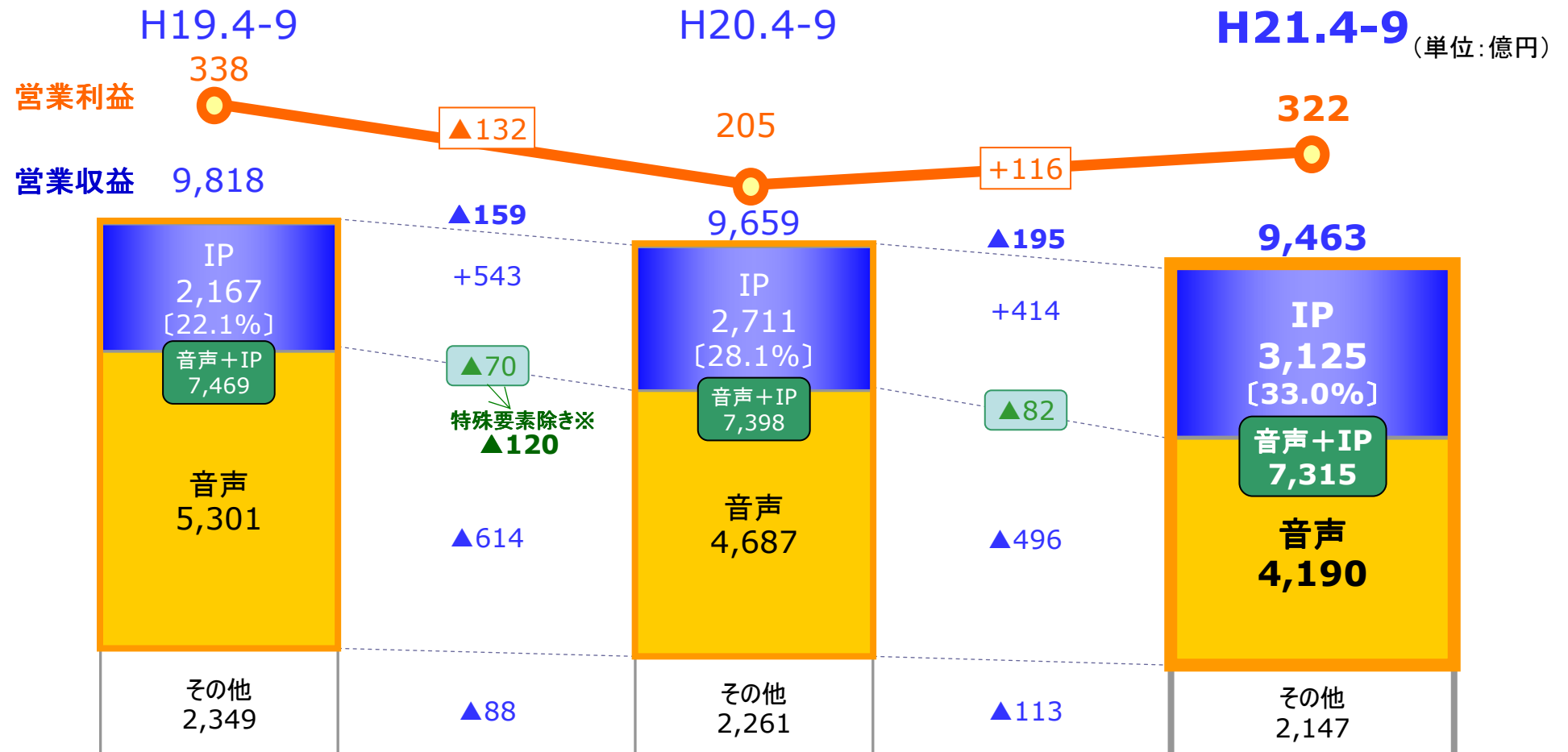
(単位:億円)

項 目	当第2四半期 (H21.4-9)	前第2四半期 (H20.4-9)	増減額	業績予想	前期実績
営業収益	9,463	9,659	▲195	19,150 (▲100)	19,529
営業費用	9,141	9,453	▲312	18,750 (▲100)	19,162
営業利益	322	205	+116	400 (±0)	366
経常利益	442	443	▲0	600 (±0)	653
当期純利益	339	441	▲101	420 (+30)	775
設備投資額	2,213	2,301	▲88	4,600 (±0)	4,690

()内はH21.5.13公表の業績予想との差

1-2. 営業収益の推移と収益構造の変化

- IP系収入がフレッツ光契約数の増等により+414億円の増である一方、音声伝送収入・その他(専用収入等)の減により、営業収益は▲195億円の減収
- なお、IP系収入は営業収益全体の33%にまで拡大

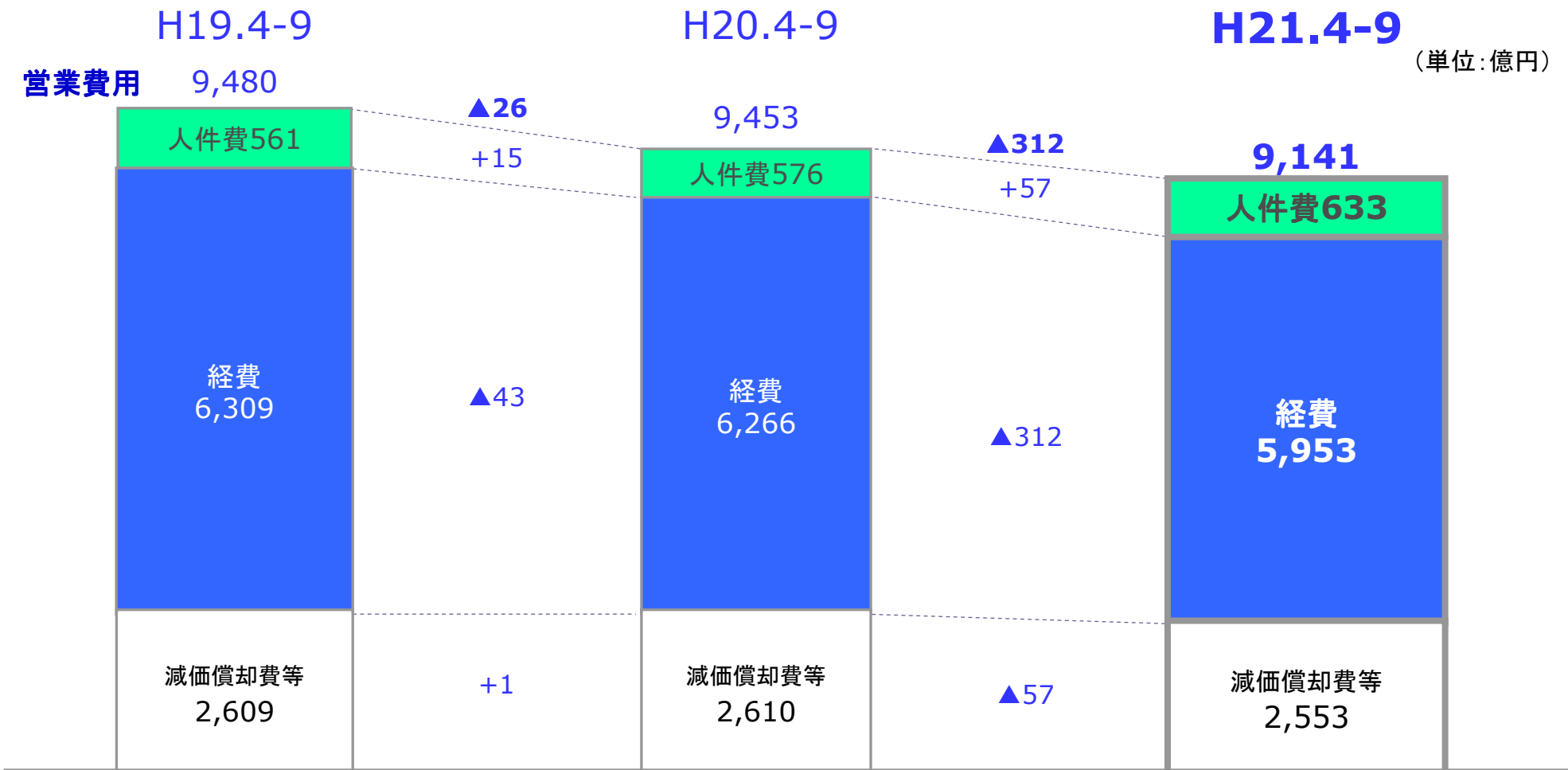


[]は営業収益に占める構成比

※ 特殊要素: H19実施のフレッツキャンペーン拡大影響等

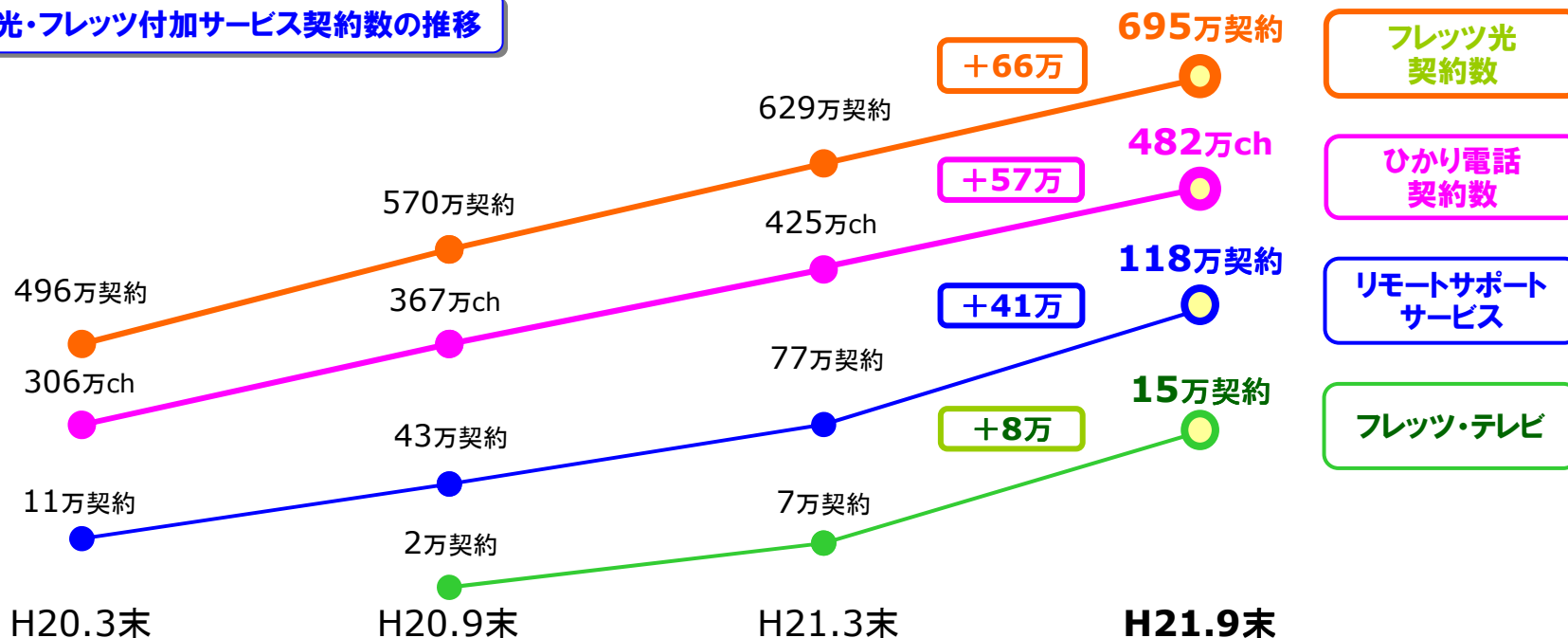
1-3. 営業費用の推移

■ 年金資産運用悪化に伴う数理計算差異の影響等による人件費の増はあるものの、効率化施策の取り組みによる経費の減、土木設備耐用年数見直しによる減価償却費の減等により、営業費用は▲312億円の減

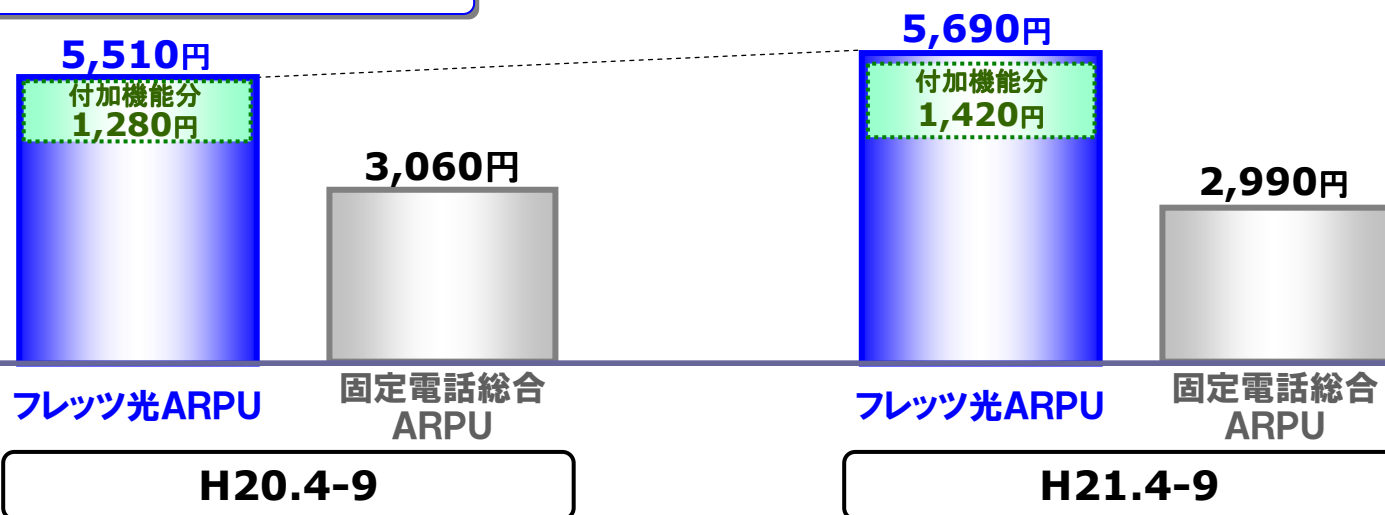


1-4. フレッツ光等の契約数及びARPUの状況

フレッツ光・フレッツ付加サービス契約数の推移



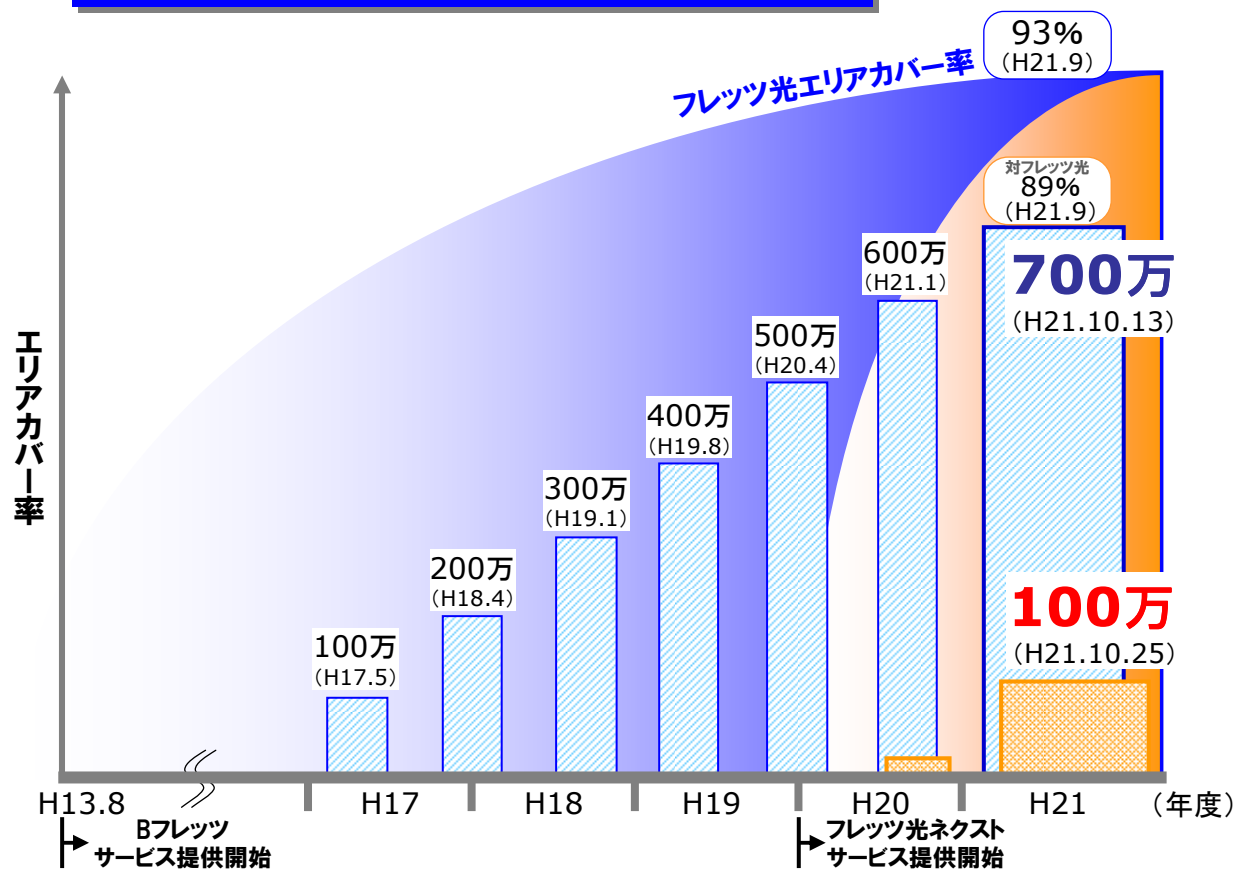
フレッツ光ARPUの推移と固定電話ARPUの推移



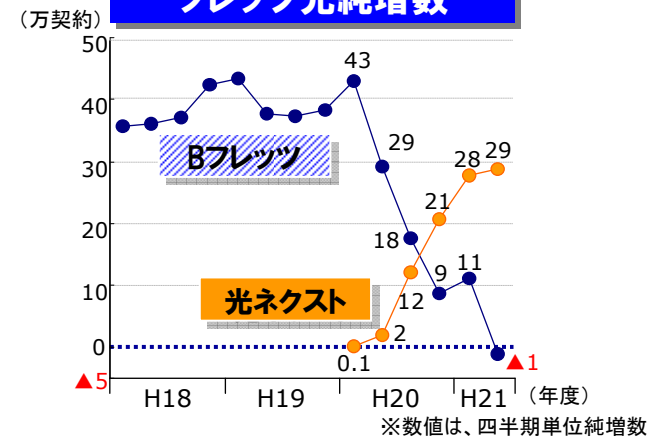
2-1. NGNのエリア拡大と契約数の推移

- H21. 10月に、フレッツ光契約数は700万、そのうち光ネクスト契約数は100万を突破
- フレッツ光エリアカバー率はH21. 2Q時点で93%
NGNエリアカバーはフレッツ光エリアの89%まで拡大しており、H21年度中には概ね全域まで拡大
- フレッツ光純増数に占める光ネクスト比率は拡大傾向を続け、H20. 4QにBフレッツの純増を逆転
H21. 2Qの純増は100%光ネクストが占める状況
- NGNによる大規模ユーザ向けVPN型サービス「ビジネスイーサワイド」は、3,200契約と順調

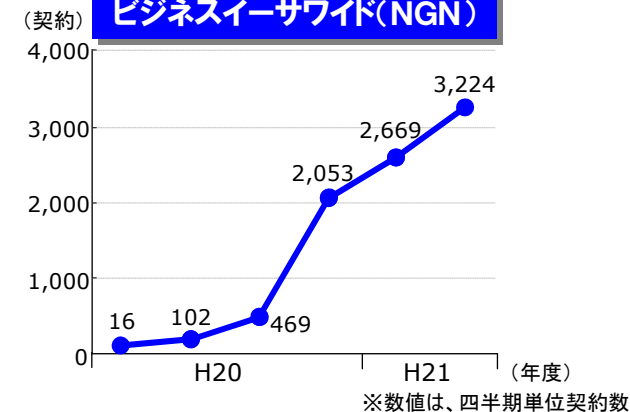
フレッツ光エリアカバー率と契約者数の推移



フレッツ光純増数

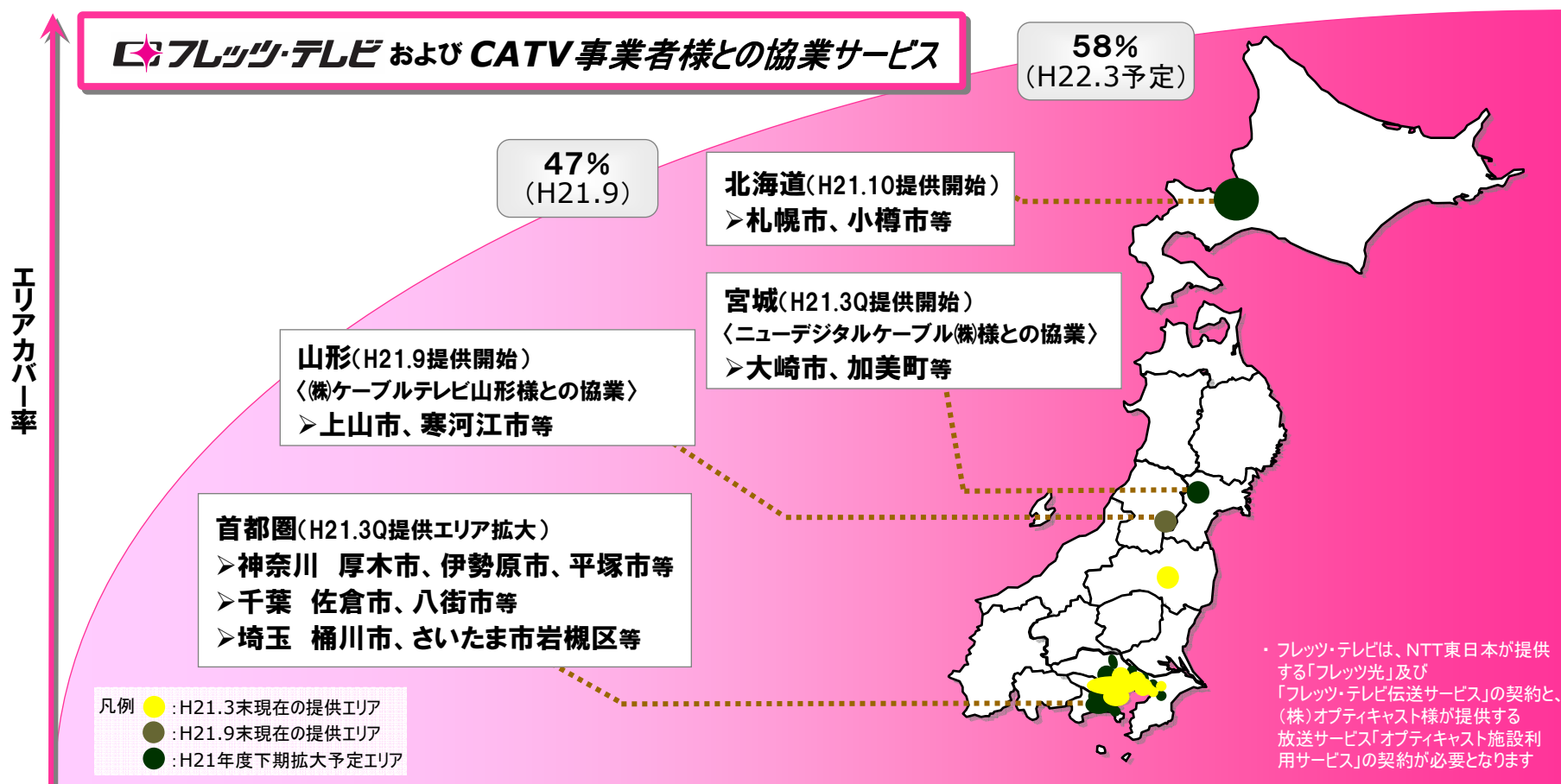


ビジネスイーサワイド(NGN)



2-2. フレッツ・テレビ等のエリア拡大

- CATV事業者様との連携
 - 山形: (株)ケーブル山形様との協業によるサービス提供開始(H21. 9)
 - 宮城: ニューデジタルケーブル(株)様との協業によるサービス提供予定(H21. 3Q)
- フレッツ・テレビのサービス提供開始・エリア拡大
 - 北海道: サービス提供開始(H21. 10)
 - 首都圏: エリア拡大予定(H21. 3Q~4Q)
- フレッツ・テレビ等のエリアカバー率は、H21年度末で58%まで拡大する予定



※エリアカバー率=提供エリア内固定電話施設数/固定電話施設数(東日本マクロ)

※拡大予定エリアでのサービス提供には、放送事業者様による各種手続き(放送局への再送信同意取得、総務省申請)が必要となります

また、設備等の都合により、提供エリア内でもサービスをご利用いただけない場合があります

2-3. サービスの拡充とアライアンスの推進による利用シーンの拡充

NGNサービスの拡充

- なりすまし防止等、高セキュリティの情報流通実現に向け、サービスプロバイダー向けに「回線情報通知機能」提供開始(H21.9)
- 最大通信速度が下り(ダウンロード)200Mbpsの「フレッツ 光ネクスト ハイスピードタイプ」提供開始(H21.10)

アライアンスの推進による利用シーンの拡充

- パートナー企業様とのアライアンス推進により、フレッツ光の魅力のさらなる向上を図るよう取り組み

➢ 「ALSOKホームセキュリティ×フレッツ光」: 総合警備保障(株)様(H21.4)



➢ 「ニンテンドーDSi×フレッツ光」: 任天堂(株)様(H21.4)



➢ 「Future Clinic 21 ワープ」: (株)NTTエムイー(H21.4)



➢ 「ライフネット×フレッツ光」: ライフネット生命保険(株)様(H21.5)

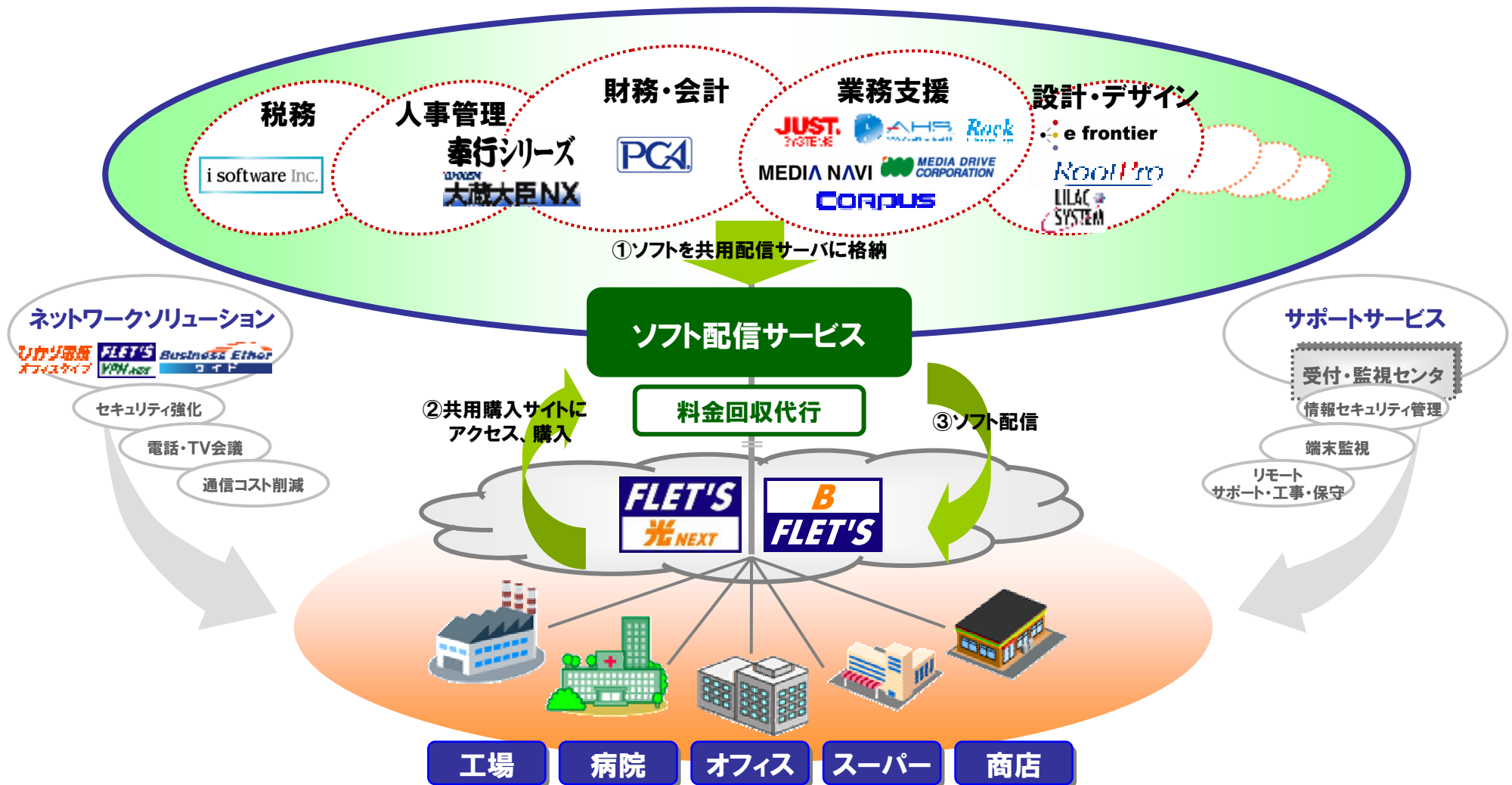


➢ 「奉行 on フレッツ」: (株)オービックビジネスコンサルタント様(H21.7)



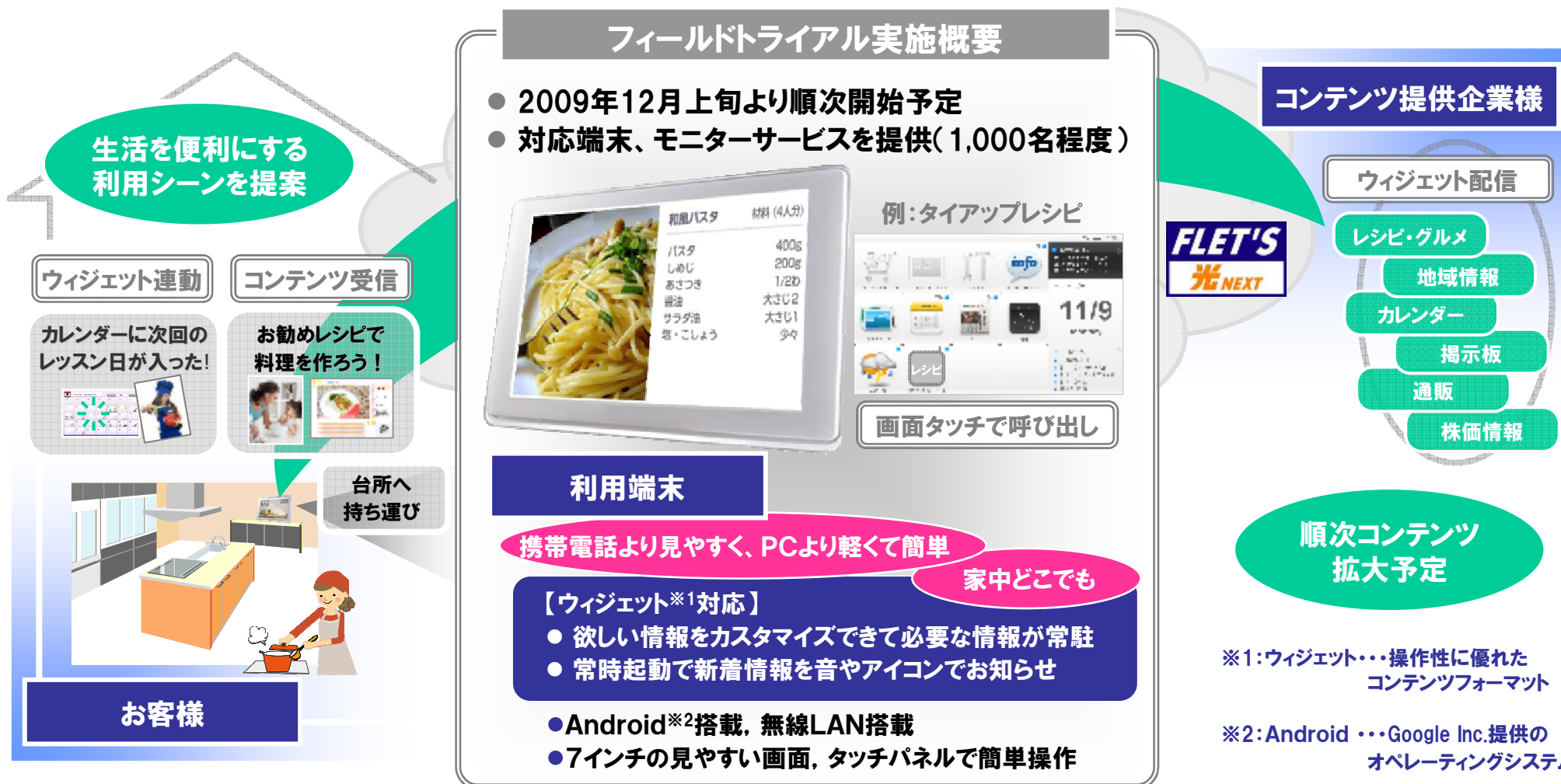
3-1. 中小ビジネス市場向けソフト配信サービスの提供

- 中小ビジネス市場向けパッケージソフトのSaaS配信をサポート
- ソフトを配信する企業様は、自社でサーバを構築することなく、簡便かつ安価に配信することが可能
ソフトをご利用になるお客様は、インストール・設定作業の負担軽減や初期費用の削減のほか、利用したい期間に利用期間に応じた料金で最新ソフトのご利用が可能



3-2. 待受情報配信サービスと光iフレーム(仮称)の提供

- コンテンツ提供企業様が、個人を特定した上で直接情報を配信することが可能な「待受情報配信サービス」とデジタルフォトフレーム型の対応端末「光iフレーム(仮称)」を平成22年度上期に提供予定
- お客様は欲しい情報を選択しメニューをカスタマイズ、必要な最新情報を端末に常駐させることによりいつでも閲覧が可能
- 端末・アプリ仕様をオープンにすることで、多種多様なコンテンツ提供企業様にご参加いただける環境を構築




3-3. フレッツ光メンバーズクラブ(仮称)

- フレッツ光をご利用いただいているお客様を対象に、「フレッツ光メンバーズクラブ(仮称)」を立ち上げ(H21. 12予定)
- 各種情報を配信するほか、サービス等に対するお客様からのご要望・ご意見をいただくなど、フレッツ光をご利用になるお客様とのコミュニケーションの充実を図る
- 会員のお客様限定メニューを提供するほか、ポイントプログラムにより様々な特典をご用意



4. 低炭素社会に向けた取り組み

つなぐ。
それは、
ECO 

Green by ICT



Green of ICT



《太陽光発電システム》

相互作用で
活性化



Green with Team NTT

■ 情報通信サービスのご利用による
環境負荷低減のご提案

- 電子カルテ
- TV会議システム
- テレワーク
- 音楽・映像配信
- オンラインショッピング



《グリーンポテト》

- 省エネ型ネットワーク設備への更改
- 太陽光発電システム導入
- 特殊車両等除く全車両を低公害車化
- H21年度末に75%まで拡大(H20年度末:60%)
- 公衆電話ボックス内蛍光灯の100%LED化
- H21年度末までに1万ボックス、H24年度末までに全3.8万ボックスを実施予定

- 屋上緑化・グリーンポテト(サツマイモの水耕栽培)
- 我が家の環境大臣:3.6万人 ※環境省主催
- 「eco検定」受験を推進 ※東京商工会議所主催
- ボランティアによる清掃活動への参加

グリーンポテト“秋の収穫祭”

～新垣結衣さんと園児たちによる芋ほり体験～
平成21年11月11日(水)13:30～

本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされ、もしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされ、もしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。